

成田ともきニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244 東松ヶ丘 7-1-306 TEL. 73-8313

子宮頸がん予防ワクチン接種の助成対象を拡充！

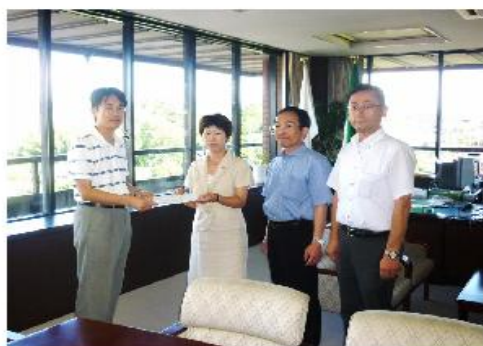
生駒市議会公明党通信号外

公明党が実現！

子宮頸がん予防ワクチン接種の助成対象者を

高校1年生まで拡充！

第1回目の接種は9月中に！



生駒市議会公明党は、本年8月8日に生駒市の山下真市長に対し、「子宮頸がんワクチン予防接種対象年齢の引き上げを求める緊急申し入れ」を行いました。

これは、国においては同ワクチンの接種対象を中学1年生から高校1年生までとして実施しているにもかかわらず、生駒市においては、高校1年生を対象に含めていなかったためです。

このたび、山下市長は、生駒市議会公明党の申し入れを受け入れ、9月1日から生駒市として、高校1年生まで対象を引き上げて実施することを決定いたしました！

【子宮頸がん予防ワクチン接種について】

- 接種対象者 中学1年生～高校1年生の女子（相当年齢の女子）
 - 接種費用 原則1回につき1,500円の自己負担
 - 接種回数 3回（3回しないと効果は得られません）
- ※必ず接種前に医療機関に予約してください。
※市外で接種する場合は、生駒市健康課（75-2255）に相談してください。

発行元 生駒市議会公明党

『生駒市議会公明党通信』号外を発行し、お知らせさせていただきました！

※なお、対象者がいるご家庭には、生駒市健康課から別途通知しています。

公明党の強力な推進により、生駒市では本年4月から子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成が開始されました。

しかし、国において中学1年生から高校1年生までを助成対象とするなど、本市においては山下市長が県市長会の申し合わせに従うとして、高校1年生は助成対象外となっていました。

公明党は早期の対象拡大を訴え、八月八日には文書で緊急の申し入れを行いました。

そしてこのたび、山下市長は、公明党の申し入れを受け入れ、九月から

助成対象を拡大することと決定いたしました。

公明党は、これからのかけがえのない生命を守る具体的施策実現のため、真剣に取り組んでまいります。

病院事業特別委員会に所属します



9月議会において、「病院事業特別委員会」の設置が決定、成田が所属することとなりました。

委員会では、事業の進行状況等についてチェックを行います。

成田ともきホームページ開設しました

日常活動を綴ったブログ随時更新中です。
“成田ともき”で検索してください。



9月議会での議決事項（抜粋）

平成 23 年度一般会計補正予算案
（総額約 16 億 4,400 万円）を可決

（主な施策）

◆子育て支援の充実のために

○私立保育所（4 園）に施設整備助成金交付

※4 園で定員計 380 人増により待機児童を解消

◆学校教育の充実のために

○小学校・中学校施設整備事業

・ 俵口小学校門扉更新工事

※保護者から相談をうけ、成田が推進！

・ 緑ヶ丘中学校鉄骨階段床改修工事

・ 大瀬中学校中庭改修工事

◆環境配慮社会の構築のために

○南コミュニティセンターに太陽光発電設備を設置

※公明党が推進！

○庁舎照明設備を LED 照明に更新

◆効率的な行財政運営の推進のために

○コンビニ交付事業拡充

住民票の写し、印鑑証明書交付に加え、戸籍証明書の交付が追加されます。（来年度から）

※住基カード無料交付期間は来年 3 月末まで延長。

条例の制定について可決

○災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正

○生駒市生涯学習施設条例 など

生駒市、生駒市議会のうごきはインターネットのホームページで随時確認できます。

生駒市

検索

自由自在

再び人知を超えた自然の猛威が日本列島に襲いかかりました。

今夏の台風によりお亡くなりになつた方々に哀悼の意を表します。

また、被災されたみなさまに衷心よりお見舞いを申し上げます。

とともに、一日一刻でも早い復旧、復興をお祈りいたします。

選挙公約でもある、真に「安心安全な街づくり」構築のため着実な活動を行ってまいります。



成田ともきの 一般質問（要旨）

平成二十三年九月議会

I 自殺防止・うつ病対策について

我が国の自殺者数は 13 年連続で年 3 万人を超え、先進国中最悪の状況です。また、自殺の動機として関連が深い、精神疾患およびうつ病の予防、啓発等についての対策が急がれるなか、本市の取組み状況を確認しました。

問 自殺予防の取組み、具体的施策は行っているか。

答 ▽セミナーの開催▽予防啓発パンフレットの作製・配布▽保健士・精神保健福祉士による一般相談窓口の設置▽県の専門機関の紹介▽専門知識をもつ相談員への研修強化等を実施している。今後、心理カウンセラーによる心の健康相談窓口（専用窓口）を設置する。

問 うつ病をはじめ精神疾患の予防・啓発などの取組みは。

答 生駒市のうつ病患者推計数は 963 人。セミナーの開催、パンフレット等配布による啓発。また、福祉支援センター「コスモールいこま」を通じ、専門的知識をもつ精神保健福祉士による家庭訪問等を実施している。

II ニート・ひきこもり対策について

「子ども・若者育成支援推進法」施行後、国は、ニート、ひきこもり、不登校者への積極的支援を推進している。昨年の内閣府調査では全国で約 70 万人の若者がひきこもり状態と報告され、問題としての認識、対策が急務です。

問 本市のニート・ひきこもりの実態は把握できているか。

答 市内の対象者数等、実態の把握はできていない。

問 ひきこもり対策として、専門窓口の開設、自立支援のための協議会の設置等の計画はあるか。

答 市内では、専門窓口はないが、教育支援室、「子どもサポートセンターゆう」で相談を受付。県の「奈良若者サポートステーション」他を紹介している。また、NPO による出前相談（3 カ月に 1 回）を広報いこま等で案内している。

協議会の設置は、他の自治体の状況確認後に検討したい。

成田ともきは、かけがえのない生命を守るための施策、未来を担う青少年の育成を支援する施策の実現・充実のため、継続して取り組んでまいります。